

■日時：2015年11月17(火)～20日(金)

■場所：ネパール カトマンズ

■主催：ネパール公共インフラ・交通省(MoPIT)、日本環境省(MOE)、国際連合アジア太平洋経済社会委員会(UN ESCAP)、国際連合地域開発センター(UNCRD)

■テーマ：レジリエンスのための EST-アジアの安全で、スマートで、低炭素でレジリエントな都市の構築のために

持続可能な開発のための安全、気候と災害にレジリエントな交通地域セミナー

第1日目 2015年11月17日			
時間	プログラム(案)	講演者	所属・肩書き
08:00-09:00	受付		
09:00-09:15	全体会議1 地域セミナー開会式		
	1. オープニングスピーチ	Peter O' Neill	ESCAP 交通政策開発部門チーフ
	2. オープニングスピーチ	高瀬 千賀子	UNCRD 所長
	3. オープニングスピーチ	Mr.Gajendra K. Thakur	ネパール公共インフラ・交通省 MOPIT 事務次官
09:15-9:35	全体会議2 交通とポスト 2015 年開発アジェンダ		
	1)2015 年開発アジェンダの中の持続可能で内包的な交通開発:世界的と地域的概観	Mr.Peter O' Neill	ESCAP 交通政策開発部門チーフ
9:35-10:00	全体会議3 交通の安全		
	1)道路交通安全の 10 年:地域の道路交通安全	Mr. Madan B Regmi	ESCAP 経済情勢役員
10:00-10:30	コーヒー/ティーブレイク		
10:30-11:30	1)アジアの道路交通安全の改善: GRSP の観点から	Ms.Cessie Pethi	世界交通安全パートナーシップ(GRSP)地域アドバイザー
	2)鉄道の安全	Mr. Vinod Bhatia	インド、ニューデリー 鉄道省局長
	3)郊外の道路交通安全	Mr. Sanjin Han	韓国交通研究院交通安全調査グループ主任研究員
11:30-13:00	全体会議4 交通安全を改善するための優れた国の経験		
	1)ネパールカトマンズでの「飲んだら乗るな」キャンペーンの成功	Mr.Bijaya Bhatta	ネパール警察副監査総監
	2)		アゼルバイジャン(予定)
	3)バングラデシュの国立高速道路	Mr.Md. Kamul Haque	バングラデシュ道路高速

	の事故多発地域への対応		道路交通部門監督技師
	4)カンボジアでのデータ収集、分析と根拠に基づいた道路交通安全政策の実施	Mr. Hong Sinara	カンボジア公共事業・運輸省局長
	5)タイでの道路交通安全改善のためのイニシアティブ	Ms. Chuthinthorn Mankhong	タイ交通政策計画局政策計画分析官
	6)道路交通安全関連の国連会議の実施	Mr. Nguyen Van Thach	ベトナム交通・運輸省交通安全局局長
13:00-14:00	ネットワーキングランチ		
14:00-15:30	全体会議 5 交通と気候適応した交通インフラ計画への気候変動の影響		
	1)交通と気候適応した交通インフラ計画への気候変動の影響	■Mr. Yusaf Samiullah	英国 Y&D International Consulting, Ltd 理事長
	2)気候に適応した交通	■Mr. Abdul Quium	交通専門家
	3)気候適応と災害にレジリエントな交通インフラの計画と設計: フィリピンの経験	Mr. Ernesto V. Alday, Jr.	フィリピン公共事業省次席技師 III
15:30-16:00	コーヒー/ティーブレイク		
16:00-17:00	全体会議 6 災害にレジリエントな交通の計画と開発		
	1)災害にレジリエントな交通インフラの計画と開発	Mr. Yusaf Samiullah	英国 Y&D International Consulting, Ltd
	2)中国での災害にレジリエントな交通インフラの開発	Prof. Linsheng Gu	四川大学—香港理工大学災害管理と復興研究所
	災害準備と救援活動に対する交通の役割(予定)		ネパール
17:00-20:45	2030 年までのカトマンズ盆地一帯での持続可能な交通を想定した ICIMOD 特別会議		
17:30-17:35	歓迎の挨拶		ICIMOD 代表
17:35-18:35	パネルディスカッションと議論		
18:35-18:50	ICIMOD 主催のレセプション兼公開討論		
19:00-21:00	閉会の辞(結論)		UNESCAP
			ICIMOD
			UNCRD

交通と気候変動のための地域対話

第2日目 2015年11月18日			
時間	プログラム(案)		
09:00-09:30	歓迎の挨拶		アデナウアー財団アジア・太平洋のエネルギー保障と気候変動地域プロジェクト(RECAP)理事
	歓迎の挨拶	Mr. Gajendra Kumar Thakur	ネパール公共インフラ・交通省(MPIT)事務次官
09:30-10:30	対話セッション		
	■パリでの交通部門で危機に瀕していること	Cornie Huizenga	SLOCAT 事務総長
	■交通関連の各国が自主的に決定する約束草案(INDC)の分析を含む EST 地域の交通と気候変動の概要	Karl Peet	SLOCAT 調査部長
	■政策分析、ASEAN 地域の交通と気候変動	Tali Trigg	ASEAN-ドイツ技術公社(GTC)共同 ASEAN 地域の陸上交通部門のエネルギー効率と気候変動緩和チームリーダー
10:30-11:00	コーヒー/ティーブレイク		
11:30-12:30	交通と気候変動の主要メッセージの議論の促進		
	■交通部門の脱炭素化はアジアにとって現実的で長期的な選択肢なのか？		
	■アジアの交通部門における気候レジリエンス(緩和)は最優先事項		
	■低炭素交通への転換によりアジアの広範囲の経済的利益が得られる		
	■持続可能な低炭素交通は接続性とアクセス性を向上する		
	■低炭素交通の採用には新たなビジネスモデルが必要		
12:30-13:00	COP21 後の低炭素交通推進のための EST 地域の次のステップについての円卓会議		
13:00-14:00	ネットワーキングランチ		

第9回政府間アジア地域 EST フォーラム

(レジリエンスのための EST—アジアの安全で、スマートで、低炭素でレジリエントな都市の構築のため
に)

2015年11月18-20日

ネパール、カトマンズ

第2日目 2015年11月18日			
時間	プログラム(案)	講演者	所属・肩書き
07:00-14:00	受付		
14:00-15:00	第9回アジア EST フォーラム公式開会式		
14:00 [会場:リージ エンシー大宴 会場]	1. 歓迎の挨拶	Mr.Gajendra Kumar Thakur	ネパール公共インフラ・交 通省事務次官
14:05	2. 開会の挨拶	高瀬千賀子	UNCRD 所長
14:10		Mr. Peter O' Neill	UN ESCAP 交通政策開発 部門チーフ
14:15		Mr.Jamie McGoldrick	国連地域コーディネータ ー、ネパール担当
14:20		早水 輝好	日本環境省大臣官房審 議官
14:25		Hon. Mr. Bijaya Kumar Gachhadar	ネパール副首相及び公 共インフラ・交通省大臣
14:30	3 潘基文国連事務総長からの特別メッセージ		
14:40	4. 主賓挨拶	Mr. K. P. Sharma Oli	ネパール首相
14:50	5. 集合写真		
15:00-15:30	コーヒー／ティーブレイク		
15:30-18:00	全体会合 1: 安全で気候と災害にレジリエントな交通システム—いかにしてレジリエントな社会を構築できるか?		
	議長:	Hon. Mr. Bijaya Kumar Gachhadar	ネパール副首相及び公共インフ ラ・交通省大臣
	ファシリテーター／司会者:	Mr.C.R.C. Mohanty	UNCRD 環境プログラムコーディネ ーター
	記録・報告:	Mr. Simon Ka Wing Ng	Civic Exchange 研究所長
	バックグラウンドペーパーの発表: 1) レジリエントな社会の構築—アジアの安全と気候 適応と災害にレジリエントな交通システムを目的とす	Mr. Madan B. Regmi	UN ESCAP

	る		
	2)低炭素交通ー健康と気候への恩恵	Prof. Jac Wismans	スウェーデン チャルマー ス工科大学
	3)レジリエントで持続可能な開発のためのネパールの交通安全戦略	Mr. Saroj Pradhan	ネパール公共インフラ・交通省(MoPIT)局長
	4)レジリエンスの不可欠な部分としての大気環境ー持続可能な交通ソリューションを通じたレジリエントなヒンドゥークシュ・ヒマラヤ・コミュニティの構築	Mr. Arnico K. Panday	国際山岳開発センター (ICIMOD)大気イニシアティブ プログラムコーディネーター 大気研究主幹
	パネルディスカッション: 1.	Mr. Mukund Kumar Sinha	インド都市開発省次官補
	2.	Ms. Elly Sinaga	インドネシア運輸省研究 開発局局長
	3.	Mr. Daniel Darius M. Nicer	フィリピン環境天然資源 省次官補
	4.	Mr. Cornie Huizenga	SLoCaT 事務総長
	5.	元田良孝教授	岩手県立大学
19:00-21:00	歓迎レセプション ホスト:ネパール公共インフラ・交通省 MoPIT 会場:カトマンズ、ハイアット・リージェンシー		

第3日目 2015年11月19日			
時間	プログラム(案)	講演者	所属・肩書き
09:00-10:30	全体会合 2: ネパール専門会議 レジリエントで持続可能な開発のためのネパール国家 EST 戦略(2015-2040)ーいかにネパールはレジリエントで持続可能な交通に融資し、実行しうるのか		
	議長:	Mr. Rapindra Prasad Adhikari	ネパール議会開発委員会 ／国会議員省事務次官
	ファシリテーター／司会者:	Prof. Marie Thynell	イエーテボリ大学平和と開発研究准教授
	記録・報告:	Ms. Glynda Bathan	クリーンエアアジア副事務局長
	バックグラウンドペーパーの発表:	Surya Raj Acharya	ネパール、運輸政策研究所所長
	1) ネパール全体会議: レジリエントで持続可能な開発のためのネパールの EST 戦略		
	2) ネパールのための気候と災害にレジリエントな交通システムとインフラ開発	Kamal Pande	交通インフラ専門家
	3) 交通安全と都市のレジリエンス: 阪神淡路大震災の教訓	河内 紳吾	日本、兵庫県
	パネルディスカッション:	Mr. Dato James Chan Khay Syn	マレーシア、クチン南市市長
	1.		
	2.	Mr. Jagdish Chandra Pokkarel	ネパール国家計画委員会前副議長
	3.	Mr. Tyrrell Duncan	アジア開発銀行 交通技術顧問
	4.	Mr. Stefan Kohler	国際復興プラットフォーム (IRP)/UNOPS
	5.	Mr. Armin Wagner	ドイツ国際協力公社交通政策顧問サービス・チームリーダー
	6.	森 幹尋	日本工営株式会社
	[道路部門における地球危機管理技術を主流化するための世界銀行プロジェクトのハンドブック／ツールキットの紹介]	森 幹尋	日本工営株式会社
10:30-11:00	コーヒー／ティーブレイク		
11:00-12:30	全体会合 3: 国のイニシアティブ / バンコク 2020 年宣言の功績		
[会場: リージ]			

<p>エンシー大宴会場</p>	<p>[国のプレゼンテーション(最大5台のスライドを使用) –(a)主な功績/新しいイニシアティブ;(b)直面した重要な課題と(c)将来の行動のためのパイプラインとしてのメガプロジェクトと基本計画を含む主要計画]</p>		
	<p>議長:</p>	<p>Hon. Dr. Bounchanh Sinthavong</p>	<p>ラオス公共インフラ・交通省大臣</p>
	<p>ファシリテーター/司会者:</p>	<p>Mr. C. R. C. Mohanty</p>	<p>UNCRD 環境プログラムコーディネーター</p>
	<p>記録・報告:</p>	<p>Mr. Simon Ka Wing Ng,</p>	<p>Civic Exchange 研究所長</p>
	<p>国別報告:</p>		<p>アフガニスタン代表者</p>
			<p>バングラデシュ代表者</p>
			<p>ブータン代表者</p>
			<p>ブルネイ代表者</p>
			<p>カンボジア代表者</p>
			<p>中華人民共和国代表者</p>
			<p>インドネシア代表者</p>
			<p>インド代表者</p>
			<p>日本代表者</p>
			<p>大韓民国代表者</p>
		<p>ラオス代表者</p>	
		<p>マレーシア代表者</p>	
<p>12:30-13:30</p>	<p>ネットワーキングランチ</p>		
<p>13:30-16:00</p>	<p>全体会合 3(続き): 国のイニシアティブ/ バンコク 2020 年宣言の功績 [国のプレゼンテーション(最大5台のスライドを使用) –(a)主な功績/新しいイニシアティブ;(b)直面した重要な課題と(c)将来の行動のためのパイプラインとしてのメガプロジェクトと基本計画を含む主要計画]</p>		
	<p>議長:</p>	<p>Hon. Mr. Anuradha Jayarathne</p>	<p>スリランカ マハウェリ開発と環境省副大臣</p>
	<p>ファシリテーター/司会者:</p>	<p>Mr. Peter O' Neill</p>	<p>UN ESCAP 交通政策開発部門チーフ</p>
	<p>記録・報告:</p>	<p>Prof. Marie Thynell</p>	<p>イエーテボリ大学</p>
	<p>国別報告(続き):</p>		<p>モルディブ代表</p>
			<p>モンゴル代表</p>
			<p>ミャンマー代表</p>
			<p>ネパール代表</p>
			<p>パキスタン代表</p>
			<p>フィリピン代表</p>
			<p>ロシア連邦代表</p>

			シンガポール代表
			スリランカ代表
			タイ代表
			東ティモール代表
			ベトナム代表
	パネルディスカッション:		
	1.	Ms. Reggie B. Ramos	フィリピン運輸通信省次官補
	2.	Ms. Lee Hojun	韓国国土交通部秘書官
	3.	Ms. Chuntinthorn Mankhong	タイ運輸省政策計画分析官
	4.	Prof. Sanjivi Sundar	インド エネルギー資源研究所(TERI)
	5.	Prof. Huapu Lu	中国 清華大学交通工学研究所所長
16:00-16:30	コーヒー／ティーブレイク		
16:30-18:00	全体会合 4: バンコク 2020 年宣言の実行による各国の主な課題、進展と功績－愛知(2005)からカトマンズ(2015)への移行		
	議長:	Hon. Mr. Abdullah Al Islam Jakob	バングラデシュ環境森林省副大臣
	ファシリテーター／司会者:	Mr. Cornie Huizenga	SLoCaT 事務総長
	記録・報告:	Mr. Collin Hughes	交通開発政策研究所(ITDP) 国家政策と事業評価理事
	バックグラウンドペーパーの発表: バンコク 2020 年宣言の実行による各国の主な課題、進展と功績－愛知(2005)からカトマンズ(2015)への移行	Todd Litman	カナダ ヴィクトリア交通政策研究所(VTPI)創設者／所長
	パネルディスカッション: [バンコク 2020 年宣言の実行の進展と見直し]	Hon. Gagan Kumar Thapa	ネパール農業・水資源委員会議長／国会議員
	1.		
	2.	Mr. Kinley Dorji	ブータン情報通信省次官
	3.	Mr. Nguyen Van Thach	ベトナム交通・運輸省局長
	4.	Mr. Chan Dara	カンボジア公共事業省局長
	5.	Prof. Marie Thynell	イエーテボリ大学
	[[2015年日本の交通と環境]報告の開始]		エコモ財団
試案についての協議－新しい活動			
1. アジアのレジリエントでスマートな都市を構築するための南アジアと東南アジアの準地域トレーニング・ワークショップ			

プ	
2. ブータンの LRT (次世代型路面電車)システムのフィージビリティスタディー	
19:00-21:00	レセプション ホスト: 持続可能な低炭素交通構想(SLoCaT)

第4日目 2015年11月20日			
時間	プログラム(案)	講演者	所属・肩書き
09:00-10:30	全体会合 5:レジリエントな交通インフラとサービスへの資金 [この会議はレジリエントな交通システムとインフラを途上国で構築するために官民パートナーシップ(PPP)を含むパートナーシップ、およびさまざまな投資の選択肢に対処することを目指します。このセッションは民間部門、開発銀行、二国間、多国間の援助機関がこの点に関して潜在的な役割についての議論に建設的に従事することも目指します。さらに、気候変動とますます頻発する自然災害の面でのレジリエンスの新たな分野の持続可能なビジネスチャンスへの民間部門による積極的な従事に対する地域全体の各国間の意識と合意をも目指します。]		
	議長:	Mr. Kinley Dorji	ブータン情報通信省次官
	ファシリテーター/司会者:	Stefan Kohler	国際復興支援プラットフォーム(IRP)/UNOPS 災害リスク削減(DRR)レジリエンスプログラム代表
	記録・報告:	Mr. Surya Raj Acharya	ネパール政策開発研究所 所長
	バックグラウンドペーパーの発表: 1) アジアでの持続可能な交通インフラのギャップを埋めるには	Collin Hughes	交通開発政策研究所(ITDP) 国家政策と事業評価理事
	2)レジリエントな交通インフラの構築のための官民パートナーシップ	Pawan Mulkutla	EMBARQ
	パネルディスカッション: 1.	Mr. Mukund Kumar Sinha	インド都市開発省次官補
	2.	Mr. Muhammad Athar	パキスタン、カラチ市役所 局長
	3.	Mr. Tyrrell Duncan	アジア開発銀行 交通技術顧問
	4.	Mr. Giok Seng Lee	クアラルンプール アジア太平洋天然ガス自動車協会(ANGVA)
	5.	Mr. Cornie Huizenga	SLoCaT 事務総長
10:30-11:00	コーヒー/ティーブレイク		
11:00-12:30	全体会合 6:レジリエントな郊外のコミュニティのための持続可能な郊外交通、食糧安全保障と貧困撲滅		
	議長:	Hon. Inacio Freitas Moreira	東ティモール運輸通信公共事業省大臣
	ファシリテーター/司会者:	Mr. Peter O' Neill	UN ESCAP 交通政策開発

			部門チーフ
	記録・報告:	Ms. Bronwen Thronton	Walk21 開発理事長
	バックグラウンドペーパーの発表: 1) レジリエントな郊外のコミュニティのための 持続可能な郊外交通、食糧安全保障と貧困撲 滅	Karl Peet	SLoCaT 調査部長
	2) 持続可能な郊外交通と食糧安全保障－ヒンドウ ークシュ・ヒマラヤ地域のケース	Mr. Jasper Cook	東南アジア地域アクセスプ ログラム(SEACAP) とアジ アコミュニティアクセスプ ログラム(ASCAP) プロジェ クトマネジャー
	パネルディスカッション: 1.	Mr. Dinesh Chandra Devkota	ネパール国家計画委員会
	2.	Mr. Safiqal Islam	バングラデシュ道路交通及 び橋梁省 道路・ハイウェイ 局
	3.	Mr. Viengsavath Siphandone	ラオス公共インフラ・交通省 局長
	4.	Mr. Abdul Wassay Rahim	アフガニスタン都市開発省 大臣上級技術顧問
12:30-13:30	ネットワーキングランチ		
13:30-15:00	全体会議7: アジアの交通部門の気候適応とレジリエンス		
	議長	Hon. Mr. Ali Amir	モルディヴ環境エネルギー 省副大臣
	ファシリテーター/司会者:	Mr. Tali Trigg	ASEAN 地域の陸上交通部 門のエネルギー効率と気 候変動緩和チームリーダー
	記録・報告	Mr. Colin Hughes	交通開発政策研究所所長 (ITDP)
	バックグラウンドペーパーの発表: 1) アジアの交通部門での適応－COP21 のための 推奨	Cornie Huizenga	SLoCaT パートナーシップ 事務総長
	2) レジリエントな社会に向けたより広範囲の接続性 のためのインドの鉄道	Mr. Vinod Bhatia	インド鉄道省局長
	3) レジリエントで低炭素な交通ソリューション－ポ スト 2015 年開発コンテキストの鉄道の役割		国際鉄道連合(UIC)
	4) ポスト 2015 年開発コンテキストの気候にレジリ	Mr. Govinda Prasad	ネパール公共事業運輸省

	エントな交通インフラとネパールでの気候変動適応 アジェンダ	Kharel	次官補
	パネルディスカッション:	Mr. Ghulam Mohd Malikyar	アフガニスタン国家環境保 護庁局長
	1.	Mr. Harendra Kharkwal	科学者「D」、インド環境森 林保護と気候変動省部長.
	2.	Mr. Harsha Kumara Wickramasinghe	スリランカ電力・エネルギー 省局長
	3.	Mr. Aung Ye Tun	ミャンマー運輸省次官補
	4.	Mr. Vinod Bhatia	インド鉄道局長
	5.	Prof. Alexiz Kai Hon Lau	中国香港科技大学教授/ 学部長
	6.		
	<u>UNCRD よりの発表</u> 1. アジアでのレジリエントでスマートな都市を構築するための二つの準地域(南アジアと東南アジア)ト レーニング・ワークショップについて 2. ブータンの次世代型路面電車(LRT)システムのフィージビリティースタディー		
15:00-15:30	コーヒー／ティーブレイク		
15:30-16:30	議長サマリーの採択	Hon. Mr. Bijaya Kumar Gachhadar	ネパール副首相及び公共 インフラ・交通省大臣
	議長:	Hon. Mr. Bijaya Kumar Gachhadar	ネパール公共インフラ・交 通省大臣
	ファシリテーター／司会者:	Mr. C.R.C. Mohanty	UNCRD 環境プログラムコ ーディネーター
		Mr. Cornie Huizenga	SLoCaT 事務総長
16:30-17:00	閉会式		
	閉会の挨拶	高瀬千賀子	UNCRD 所長
		Peter O' Neill	ESCAP 交通政策開発部門 チーフ
		早水 輝好	日本環境省大臣官房審議 官
		Hon. Mr. Bijaya Kumar Gachhadar	ネパール副首相及び公共 インフラ・交通省大臣
17:00-17:30	記者会見		
17:30-19:30	技術的実地調査 実施場所:カトマンズ、パタン、バクタブル		